

# 平成26年度 財政状況資料集

## 総括表（都道府県）

都道府県名	岐阜県		職員の状況				区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分	平成26年度(千円・%)	平成25年度(千円・%)
			区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)		歳入総額	歳出総額	実質収支比率				
グループ	B		知事	1	13,400		761,565,506	784,410,558	1.4	1.3			
人口	22年国調(人)	2,080,773	副知事	2	10,600		744,808,582	766,227,144	92.5	93.6			
	17年国調(人)	2,107,226	教育長	1	8,500		16,756,924	18,183,414	(※1)	(106.8)	(110.1)		
	増減率(%)	-1.3	議会議長	1	10,200		10,446,592	12,411,676	461,080,405	460,396,831			
住民基本台帳人口	27.01.01(人)	2,087,595	議会副議長	1	9,200		6,310,332	5,771,738	0.50989	0.49879			
	うち日本人(人)	2,044,115	議会議員	44	8,500		538,594	-394,626	23.1	22.9			
	26.01.01(人)	2,098,176	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	6,613,516	2,853,281	健全化判断比率				
	うち日本人(人)	2,054,702	一般職員	5,752	19,188,672	3,336	1,724,000	2,732,000	実質赤字比率	-	-		
	増減率(%)	-0.5	うち消防職員	-	-	-	5,428,110	-273,345	連結実質赤字比率	-	-		
面積(km <sup>2</sup> )	10,621		うち技能労務職員	143	438,152	3,064	181,649,851	176,343,868	実質公債費比率	15.3	17.0		
	人口密度(人/km <sup>2</sup> )	197		警察官	3,488	11,426,688	3,276	350,356,029	344,527,194	将来負担比率	195.0	202.2	
世帯数(世帯)	737,151		教育公務員	14,946	55,619,566	3,721	229,077,663	223,229,363	資金不足比率(※4)				
	ラスパイレス指数	98.7		臨時職員	-	-	-	-	-				
			合計	24,186	86,234,926	3,565	1,496,457,495	1,476,556,131					
							うち公的資金	378,016,407	400,393,046				
							債務負担行為額(支出予定額)	71,647,638	69,510,162				
							収益事業収入	5,657,911	6,040,352				
							定額運用基金	12,402,134	12,391,742				
							土地開発基金	10,990,584	10,980,297				
							積立金 現在高	28,236,183	23,346,667				
							財政調整金	16,379,274	16,374,961				
							減債基金	38,545,009	49,989,967				
							その他特定目的基金						
一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	
(1)	一般会計			(11)	水道事業会計	(13)	流域下水道特別会計	(14)	岐阜県地方競馬組合	(15)	(財)岐阜県研究開発財団		
(2)	公債管理特別会計			(12)	工業用水道事業会計					(16)	(財)岐阜県国際交流センター		
(3)	用度事業特別会計									(17)	(財)世界遺産白川郷合掌造り保存財団		
(4)	地方独立行政法人資金貸付特別会計									(18)	(財)岐阜県市町村行政情報センター		
(5)	介護人材確保対策特別会計									(19)	(財)岐阜県教育文化財団		
(6)	母子寡婦福祉資金貸付特別会計									(20)	(財)岐阜県公衆衛生検査センター		
(7)	中小企業振興資金貸付特別会計									(21)	(財)岐阜県産業経済振興センター	○	
(8)	就農支援資金貸付特別会計									(22)	(財)セラミックパーク美濃		
(9)	林業改善資金貸付特別会計									(23)	(財)飛騨地域地場産業振興センター		
(10)	徳山ダム上流域公有地化特別会計									(24)	(財)ソフトピアジャパン		

(注釈) ※1：経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（都道府県）

歳入の状況（単位 千円・％）					都道府県税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	226,996,898	29.8	195,749,320	47.6	普通税	226,945,238	100.0	2,230,225	
地方譲与税	40,774,961	5.4	40,774,961	9.9	法定普通税	226,945,238	100.0	2,230,225	
地方揮発油譲与税	3,400,901	0.4	3,400,901	0.8	道府県民税	84,527,399	37.2	2,230,225	
地方道路譲与税	-	-	-	-	個人均等割	2,534,600	1.1	995,790	
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	65,283,991	28.8	-	
石油ガス譲与税	177,733	0.0	177,733	0.0	法人均等割	2,193,104	1.0	197,802	
航空機燃料譲与税	-	-	-	-	法人税割	8,122,790	3.6	1,036,633	
地方法人特別譲与税	37,196,327	4.9	37,196,327	9.0	利子割	1,186,398	0.5	-	
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	配当割	3,313,092	1.5	-	
地方特例交付金	775,149	0.1	775,149	0.2	株式等譲渡所得割	1,893,424	0.8	-	
地方交付税	171,367,200	22.5	168,710,971	41.0	事業税	36,090,830	15.9	-	
普通交付税	168,710,971	22.2	168,710,971	41.0	個人分	2,241,992	1.0	-	
特別交付税	2,456,327	0.3	-	-	法人分	33,848,838	14.9	-	
震災復興特別交付税	199,902	0.0	-	-	地方消費税	47,376,962	20.9	-	
(一般財源計)	439,914,208	57.8	406,010,401	98.8	不動産取得税	4,275,824	1.9	-	
交通安全対策特別交付金	608,208	0.1	608,208	0.1	道府県たばこ税	2,193,231	1.0	-	
分担金・負担金	3,376,642	0.4	-	-	ゴルフ場利用税	1,801,404	0.8	-	
使用料	7,589,630	1.0	4,058,367	1.0	自動車取得税	1,607,030	0.7	-	
手数料	3,298,667	0.4	-	-	軽油引取税	16,772,734	7.4	-	
国庫支出金	86,420,126	11.3	-	-	自動車税	32,283,441	14.2	-	
国有提供交付金	-	-	-	-	鉱区税	16,383	0.0	-	
財産収入	2,189,895	0.3	32,714	0.0	固定資産税特例	-	-	-	
寄附金	113,487	0.0	-	-	法定外普通税	-	-	-	
繰入金	26,232,111	3.4	-	-	目的税	49,837	0.0	-	
繰越金	18,183,414	2.4	-	-	法定目的税	34,883	0.0	-	
諸収入	48,390,718	6.4	310,421	0.1	狩猟税	34,883	0.0	-	
地方債	125,248,400	16.4	-	-	法定外目的税	14,954	0.0	-	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	旧法による税	1,823	0.0	-	
うち臨時財政対策債	63,291,700	8.3	-	-	合計	226,996,898	100.0	2,230,225	
歳入合計	761,565,506	100.0	411,020,111	100.0					

区分		平成26年度		平成25年度	
徴収率 (%)	現・計 (年)				
	合計	98.8	96.9	98.8	96.7
	道府県民税	98.5	94.8	98.4	94.3
	事業税	99.8	99.0	99.7	98.6

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	1,179,229	0.2	681	1,179,195	
総務費	43,019,346	5.8	3,190,154	36,309,785	
民生費	104,313,897	14.0	2,877,787	93,751,849	
衛生費	23,828,243	3.2	4,125,255	13,652,345	
労働費	3,716,141	0.5	252,057	778,511	
農林水産業費	45,831,816	6.2	31,492,360	14,577,223	
商工費	47,288,318	6.3	2,140,585	11,686,818	
土木費	93,458,893	12.5	79,049,606	20,932,088	
警察費	42,313,842	5.7	2,756,387	36,970,255	
消防費	-	-	-	-	
教育費	181,643,362	24.4	5,688,662	134,571,577	
災害復旧費	4,718,536	0.6	-	253,666	
公債費	124,494,560	16.7	-	122,587,152	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
利子割交付金	610,000	0.1	-	610,000	
配当割交付金	1,847,000	0.2	-	1,847,000	
株式等譲渡所得割交付金	895,000	0.1	-	895,000	
地方消費税交付金	23,466,150	3.2	-	23,466,150	
ゴルフ場利用税交付金	1,254,246	0.2	-	1,254,246	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	
自動車取得税交付金	930,003	0.1	-	930,003	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	
特別区財政調整交付金	-	-	-	-	
歳出合計	744,808,582	100.0	131,573,534	516,252,863	

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	358,811,891	48.2	309,499,735	308,144,718	65.0
人件費	223,186,220	30.0	181,132,953	179,784,755	37.9
うち職員給	162,330,902	21.8	128,574,923	128,556,017	27.1
扶助費	11,386,158	1.5	6,034,677	6,027,858	1.3
公債費	124,239,513	16.7	122,332,105	122,332,105	25.8
元利償還金	124,218,234	16.7	122,310,826	122,310,826	25.8
内 うち元金	105,347,036	14.1	103,578,292	103,578,292	21.8
内 うち利子	18,871,198	2.5	18,732,534	18,732,534	3.9
一時借入金利子	21,279	0.0	21,279	21,279	0.0
その他の経費	249,704,621	33.5	186,342,377	130,713,616	27.6
物件費	24,942,438	3.3	17,423,813	15,369,196	3.2
維持補修費	8,125,149	1.1	6,803,141	6,774,908	1.4
補助費等	155,235,661	20.8	141,499,649	107,954,795	22.8
繰出金	1,087,650	0.1	1,077,258	-	-
積立金	19,680,255	2.6	15,632,412	-	-
投資及び出資金	48,027	0.0	19,776	-	-
貸付金	40,585,441	5.4	3,886,328	614,717	0.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	136,292,070	18.3	20,410,751	-	-
うち人件費	4,052,287	0.5	1,959,020	-	-
普通建設事業費	131,573,534	17.7	20,157,085	-	-
うち補助	70,010,461	9.4	2,889,608	-	-
うち単独	41,447,817	5.6	16,372,742	-	-
災害復旧事業費	4,718,536	0.6	253,666	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	744,808,582	100.0	516,252,863	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

平成26年度 岐阜県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	777,361	765,172	12,190	6,062	26,234	1,520,676	
2 公債管理特別会計	95,154	95,154	-	-	33,106	2,303	
3 用度事業特別会計	349	347	3	3	-	-	
4 地方独立行政法人資金貸付特別会計	2,858	2,858	-	-	-	23,708	
5 介護人材確保対策特別会計	57	55	2	2	43	-	
6 母子寡婦福祉資金貸付特別会計	334	167	167	-	0	1,189	
7 中小企業振興資金貸付特別会計	6,727	3,090	3,637	-	388	8,875	
8 就業支援資金貸付特別会計	199	80	119	39	1	272	
9 林業改善資金貸付特別会計	489	54	435	-	0	-	
10 徳山ダム上流域公有地化特別会計	492	492	-	-	481	-	
11 県営住宅特別会計	1,584	1,390	204	204	10	-	
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							

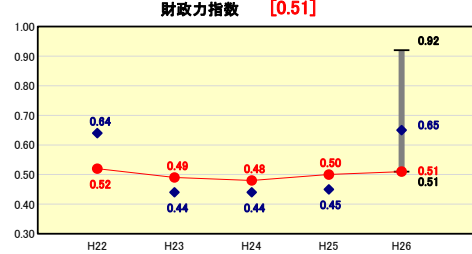
### (3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

人口	2,087,595	人(H27.1.1現在)	-	%
うち日本人	2,044,115	人(H27.1.1現在)	-	%
面積	10,621.29	km <sup>2</sup>	-	%
歳入総額	761,565,506	千円	15.3	%
歳出総額	744,808,582	千円	195.0	%
実収支	6,310,332	千円		
標準財政規模	461,080,405	千円		
地方債現在高	1,496,457,495	千円		



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1,000以上、Bグループ 0.500以上1,000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

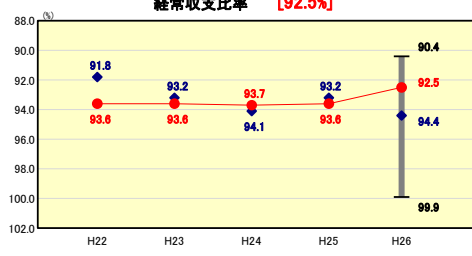
#### 財政力



**財政力指数の分析欄**

企業業績の悪化による法人事業税の減(平成22年度)などから、基準財政収入額が大きく落ち込んだ影響により、平成22年度から平成24年度の財政力指数は低下した。平成26年度は、地方法人特別譲与税の増による基準財政収入額の増加などから、前年度より0.01ポイント増となり、全国平均を上回る0.51となっている。政策の自由度を確保するためには自主財源を一層増やしていくことが不可欠であり、個人住民税の直接徴収や外部資金の積極的な導入など、自主財源の確保対策に積極的に取り組む。

#### 財政構造の弾力性

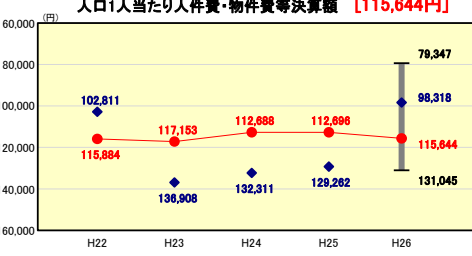


**経常収支比率の分析欄**

社会保障関係経費の増加など経常収支比率を悪化させる要因がある一方で、地方税の増や平成21年度がピークであった公債費の減などの経常収支比率を改善させる要因もあり、結果的に前年度より1.1ポイント改善し92.5ポイントとなった。

また、全国平均を0.5ポイント下回っている状況ではあるが、社会保障関係経費の増加等が予想され財政の硬直化が続くものと予想されることから、引き続き歳入・歳出両面にわたる行財政改革に取り組み、節度とメリハリの利いた財政運営に努める。

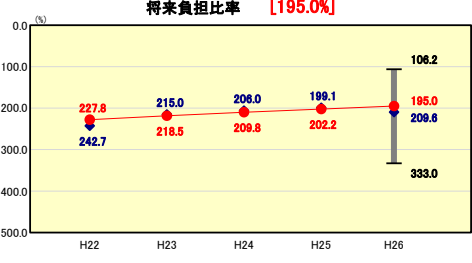
#### 人件費・物件費等の状況



**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

「行財政改革アクションプラン」等による臨時的給与抑制(平成21年度～25年度)の終了や平成26年度給与勧告による月例給・特別給等の引き上げにより2,948円増(112,696→115,644円)となり、全国平均とほぼ同水準となった。今後も引き続き行政コストの削減に努める。

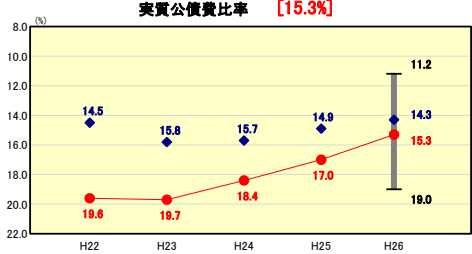
#### 将来負担の状況



**将来負担比率の分析欄**

全国平均13.7ポイントの減(200.7→187.0%)に対し、本県は7.2ポイント減(202.2→195.0%)となった。平成22年度以降、将来負担比率は一貫して減少しており、これは地方債の償還に充当可能な基金残高の増(H22:440→H26:1,035億円)及び償還に係る普通交付税への将来算入見込みの増(H22:8.324→H26:9.446億円)等によるものである。引き続き持続可能な財政運営を実現するため、早期の県債残高減少を目指す。

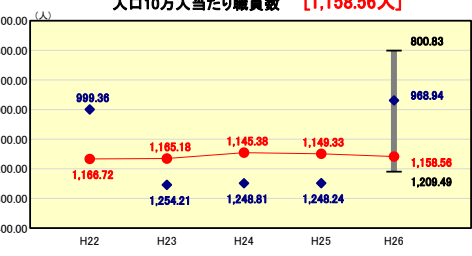
#### 公債費負担の状況



**実質公債費比率の分析欄**

全国平均は前年度より0.4ポイントの減(13.5→13.1%)であり、本県においても1.7ポイントの減(17.0→15.3%)となった。一般会計の公債費のピークである平成21年度を過ぎ、元利償還金の額が減少していることが主な要因である。景気による税収の増減など不確定要素も多いが、中期的には改善に向かう見通しであり、持続可能な財政運営を実現するため、引き続き公債費減少に向けた取組を進めていく。

#### 定員管理の状況

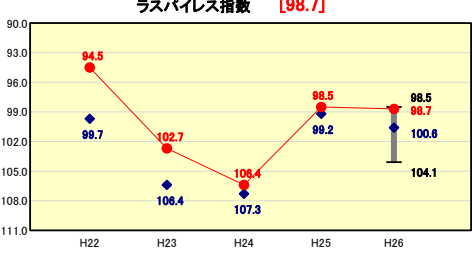


**人口10万人当たり職員数の分析欄**

類似団体には政令指定都市を有する11府県が含まれており、相対的に順位が低くなっている。

行財政改革指針(H20年度～H24年度)及び行財政改革アクションプラン(H22年度～H24年度)に基づいて新規採用を抑制し約1割(2,757人)の定員削減を進めてきたことにより、当県は相当に効率的な行政組織となっており、今後も基本的には現在の職員規模により適正な定員の管理を図っていく。

#### 給与水準(国との比較)



**ラスパイレース指数の分析欄**

行財政改革アクションプランによる臨時的給与抑制の実施等により、全国平均並びに類似団体平均を下回って推移している。今後も引き続き適正な給与水準の維持に努めていく。

# (4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

岐阜県

## 経常収支比率の分析

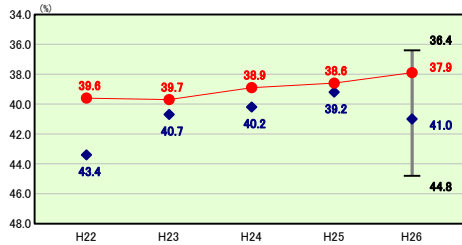
人	口	2,087,595	人(H27.1.1現在)	突  實  赤  字  比  率	-	%
うち日本人		2,044,115	人(H27.1.1現在)	通  結  実  質  赤  字  比  率	-	%
面積		10,621.29	km <sup>2</sup>	突  實  公  債  費  比  率	15.3	%
歳入総額		761,565,506	千円	得  茶  負  担  比  率	195.0	%
歳出総額		744,808,582	千円	グ ル ー プ	H22 B	H23 C
実  質  収  支		6,310,332	千円	( 年  度  毎 )	H25 C	H26 B
標準財政規模		461,080,405	千円			H24 C



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1,000以上、Bグループ 0,500以上1,000未満、Cグループ 0,400以上0,500未満、Dグループ 0,300以上0,400未満、Eグループ 0,300未満 ]

### 人件費

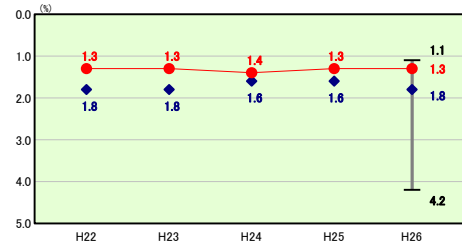
グループ内順位 2/17 都道府県平均 38.7



**人件費の分析欄**  
 行財政改革アクションプラン等に基づき平成20年度から平成24年度までに2,757人の定員削減を進め、臨時的給与抑制(平成21年度～25年度)と合わせ、毎年度100億円程度の人件費の削減を実施した。その後も適正な定員管理、昇給等の実施により、人件費は減少傾向となっており、全国平均並びに類似団体平均を下回っている。今後も、適正な職員規模及び給与水準の維持に努めていく。

### 扶助費

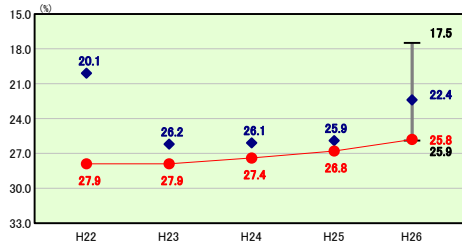
グループ内順位 3/17 都道府県平均 1.9



**扶助費の分析欄**  
 前年度と同率であり、全国平均並びに類似団体平均を下回っている。これは本県において過去から生活保護の扶助対象者数が少ないこと(H26末全国2,163,414⇔岐阜県:11,102名)等によるものではあるが、社会情勢の変化の中、上記対象者数の動向を注視していく必要がある。

### 公債費

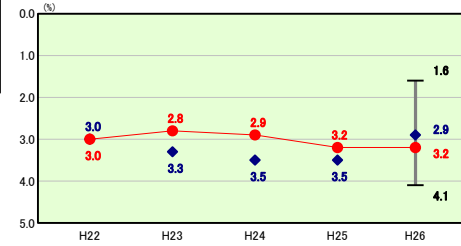
グループ内順位 16/17 都道府県平均 23.3



**公債費の分析欄**  
 前年度より1.0ポイント低下したが、引き続き全国平均並びに類似団体平均を上回っている。当県においては、過去に積極的に公共投資を進めてきた結果、県債残高が増加したものの、近年は公共投資を縮減してきた。これにより、公債費については平成21年度をピークとして緩やかに減少しているものの、県債発行の抑制など引き続き公債費減少へ向けた取組を進めていく。

### 物件費

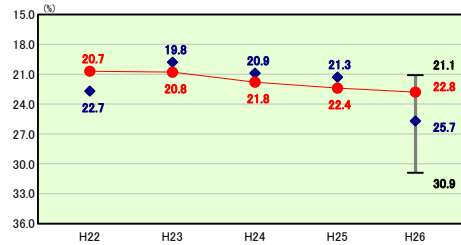
グループ内順位 10/17 都道府県平均 3.4



**物件費の分析欄**  
 前年度に引き続き全国平均を下回っているが、類似団体平均は上回っている。各種事業の増減はあるものの前年度からのポイントの変動はなかった。当県では、「行財政改革アクションプラン」を策定し、平成22年度から平成24年度まで、構造的な財源不足の解消に向けた取組を進めてきた。今後も、これまでの行財政改革の取組みの成果を踏まえて、事務事業の見直しによる一層の事業の効率化を図るなど、歳出削減に取り組む。

### 補助費等

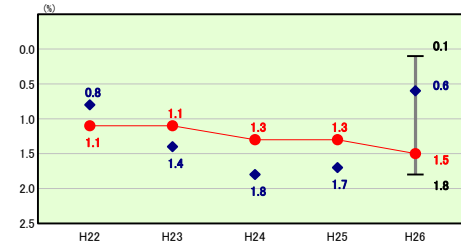
グループ内順位 4/17 都道府県平均 24.6



**補助費等の分析欄**  
 介護保険事業費負担金など社会保障関係経費の増加(H25:1,020→H26:1,065億円)等により、補助費等に係る経常収支比率は前年度より0.4ポイント増加しているが、類似団体平均を2.9ポイント下回っている。今後も高齢化の進展などにより、この傾向は続くことが見込まれるため、事業の見直し等により、経費の縮減に努めていく。

### その他

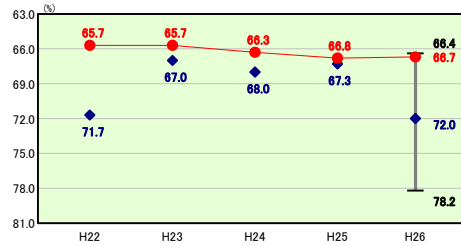
グループ内順位 15/17 都道府県平均 1.1



**その他の分析欄**  
 前年度より0.2ポイント増加し、全国平均並びに類似団体平均を上回っている。「その他」の主なものには維持修繕費である。事業量の増加による河川維持修繕費(H25:14→H26:17億円)の増等により対前年増となっており、今後も経費節減への取組を進める。

### 公債費以外

グループ内順位 2/17 都道府県平均 69.7



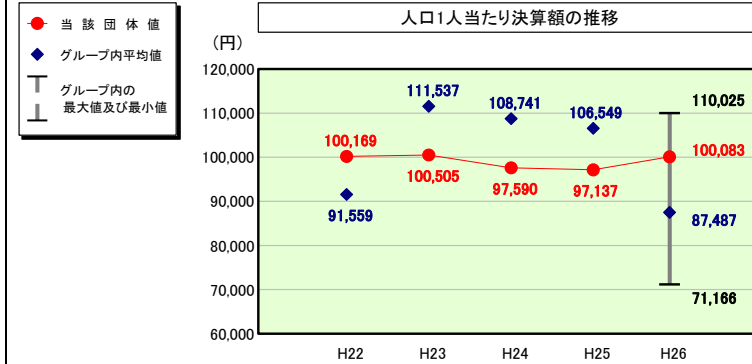
**公債費以外の分析欄**  
 前年度より0.4ポイント減少し、全国平均並びに類似団体平均を下回っている。「公債費以外」の主なものには人件費(0.7ポイント減)、補助費等(0.4ポイント増)である。補助費等は前述のとおり、社会保障関係費の影響により増加しているが、今後も経費節減への取組を進める。

# (4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

岐阜県

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



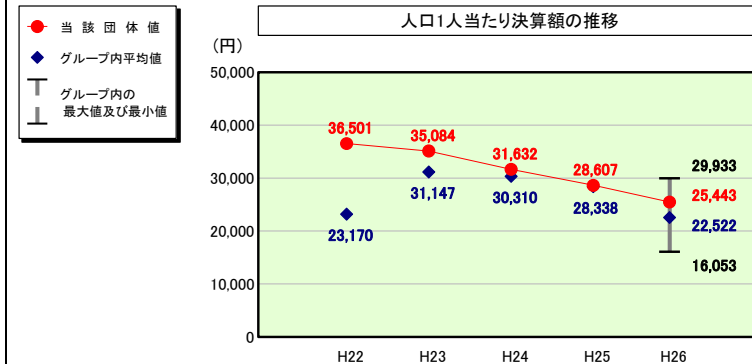
### 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
人件費	223,186,220	106,911	94,590	13.0
賃金(物件費)	583,433	279	150	86.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	483	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	37	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	4,052,287	1,941	873	122.3
▲退職金	▲ 18,888,854	▲ 9,048	▲ 8,647	4.6
合計	208,933,086	100,083	87,487	14.4

### 参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	1,158.56	968.94	189.62
ラスパイレース指数	98.7	100.6	▲ 1.9

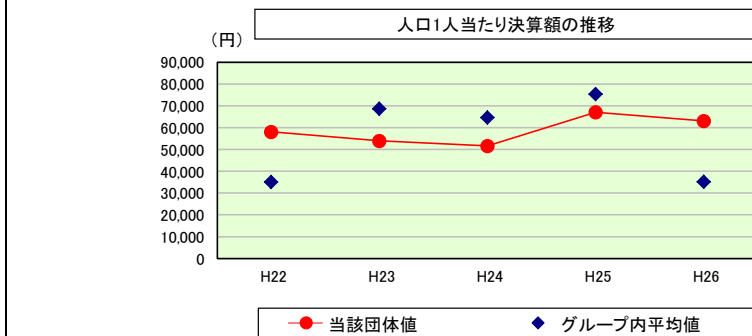
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	109,427,139	52,418	26,315	99.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	3,581	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還に相当するもの (年度割相当額)	14,885,325	7,130	17,871	▲ 60.1
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	506,729	243	1,100	▲ 77.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	-	-	85	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	3,545,869	1,699	807	110.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	18,997	9	2	350.0
▲特定財源の額	▲ 2,349,034	▲ 1,125	▲ 2,025	▲ 44.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 72,919,812	▲ 34,930	▲ 25,214	38.5
合計	53,115,213	25,443	22,522	13.0

## (参考) 普通建設事業費の分析



### 普通建設事業費

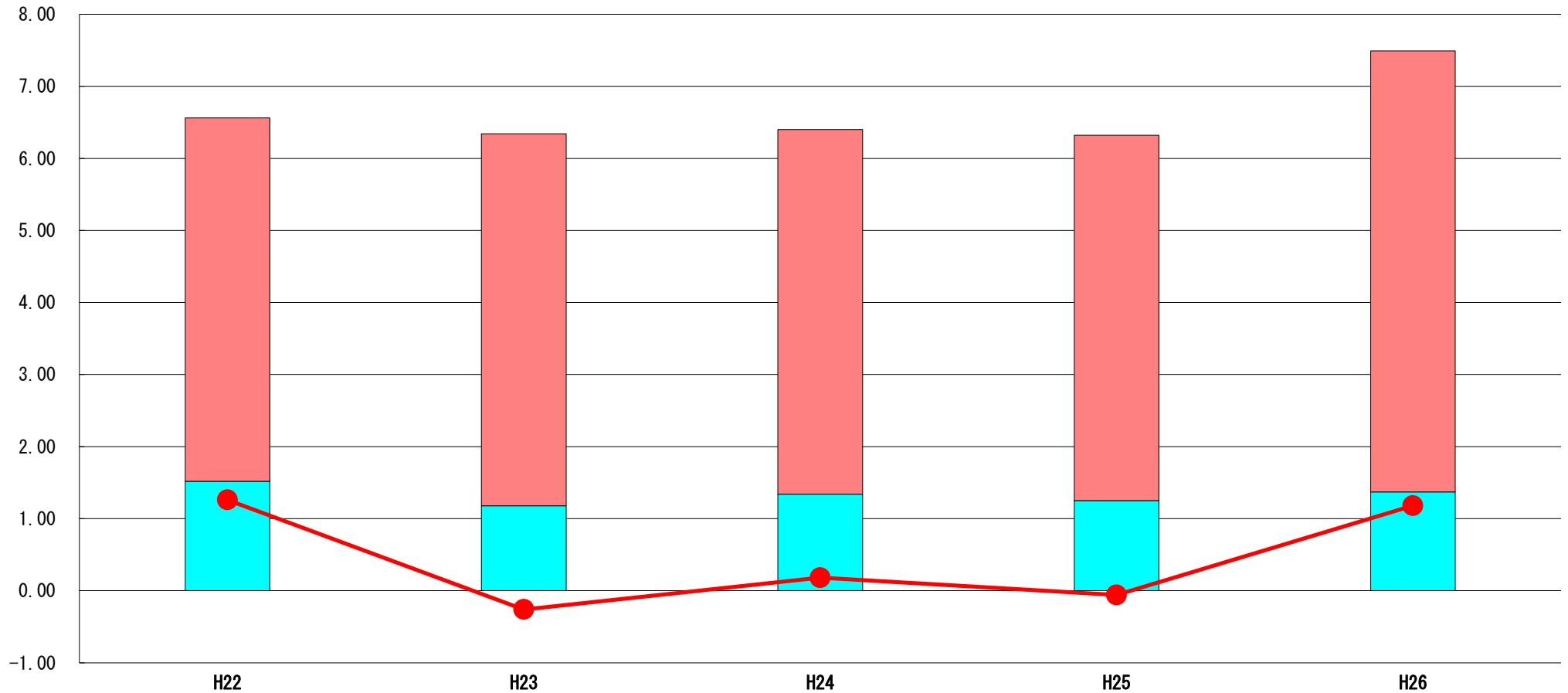
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	グループ内平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	120,472,855	58,012	▲ 10.6	35,074	▲ 12.0	1.4
うち単独分	48,199,906	23,210	1.1	16,700	▲ 3.0	4.1
H23	111,569,728	53,926	▲ 7.0	68,694	95.9	▲ 102.9
うち単独分	42,284,747	20,438	▲ 11.9	22,902	37.1	▲ 49.0
H24	108,423,280	51,559	▲ 4.4	64,604	▲ 6.0	1.6
うち単独分	34,450,424	16,383	▲ 19.8	19,885	▲ 13.2	▲ 6.6
H25	140,746,435	67,080	30.1	75,396	16.7	13.4
うち単独分	33,739,514	16,080	▲ 1.8	23,659	19.0	▲ 20.8
H26	131,573,534	63,026	▲ 6.0	35,216	▲ 53.3	47.3
うち単独分	41,447,817	19,854	23.5	12,644	▲ 46.6	70.1
過去5年間平均	122,557,166	58,721	0.4	55,797	8.3	▲ 7.9
うち単独分	40,024,482	19,193	▲ 1.8	19,158	▲ 1.3	▲ 0.5

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）

平成26年度

岐阜県

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
<span style="color: red;">■</span> 財政調整基金残高		5.04	5.16	5.06	5.07	6.12
<span style="color: cyan;">■</span> 実質収支額		1.52	1.18	1.34	1.25	1.37
<span style="color: red;">●</span> 実質単年度収支		1.26	▲ 0.26	0.18	▲ 0.06	1.18

### 分析欄

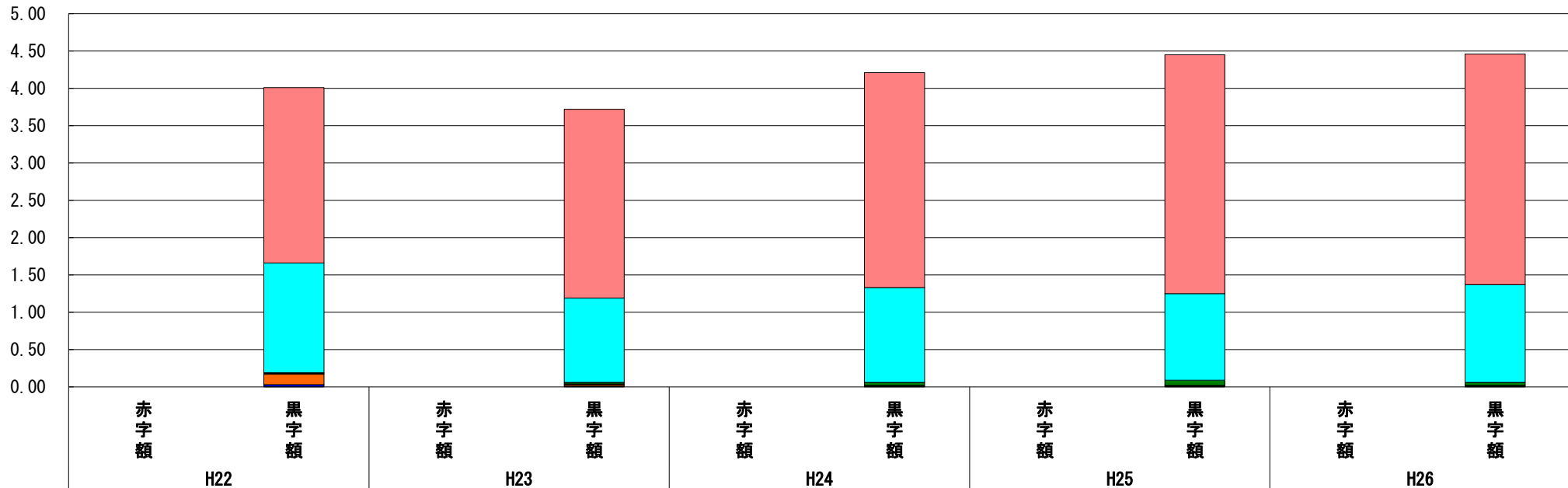
財政調整基金残高については前年度より1.05ポイント増加し、実質収支額についても0.12ポイント増加した。平成25年度の財政調整基金の取崩しは27億円、積立は29億円で実質単年度収支は△4億円であったが、平成26年度は財政調整基金の取崩しは17億円、積立は66億円（H26決算剰余金に加え交付税後年度精算金等47億円の積立）となったことから、実質単年度収支は大幅プラスの56億円となり、実質収支比率も増加した。な

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

平成26年度

岐阜県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度				
	H22	H23	H24	H25	H26
水道事業会計	2.35	2.53	2.88	3.20	3.09
一般会計	1.47	1.13	1.27	1.16	1.31
県営住宅特別会計	0.01	0.02	0.04	0.07	0.04
工業用水道事業会計	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
流域下水道特別会計	0.14	0.02	0.00	0.00	0.01
就農支援資金貸付特別会計	-	0.01	0.01	0.01	0.00
用度事業特別会計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
介護人材確保対策特別会計	-	-	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）	-	-	-	-	-
その他会計（黒字）	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00

## 分析欄

前年度に引き続き赤字が生じている会計は存在しない。今後とも赤字が発生しないよう経費の節減に取り組んでいく。

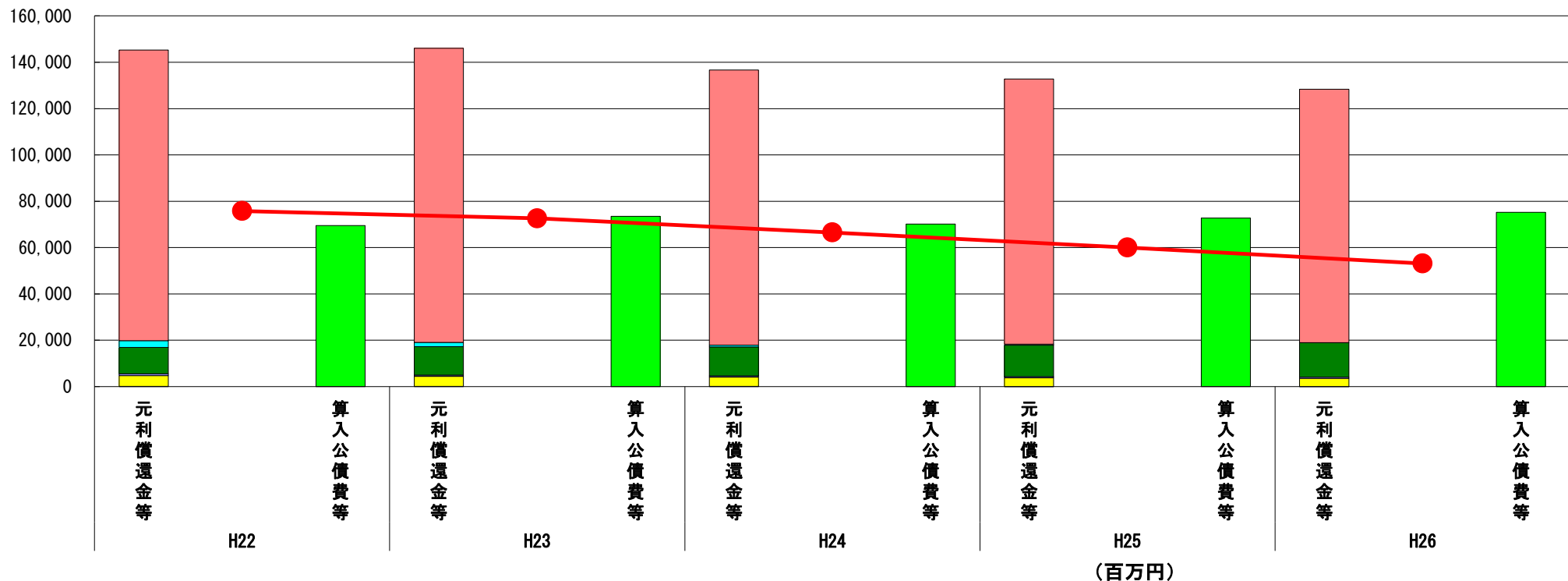


# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成26年度

岐阜県

(百万円)



分子の構造		年度				
		H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等(A)	元利償還金	125,542	127,029	118,752	114,473	109,427
	減債基金積立不足算定額	2,920	1,796	804	364	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	11,418	12,325	12,499	13,605	14,885
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	689	504	494	507	507
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額	4,700	4,378	4,031	3,751	3,546
	一時借入金の利子	61	42	56	41	19
算入公債費等(B)	算入公債費等	69,529	73,486	70,117	72,719	75,270
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	75,801	72,588	66,519	60,022	53,114

## 分析欄

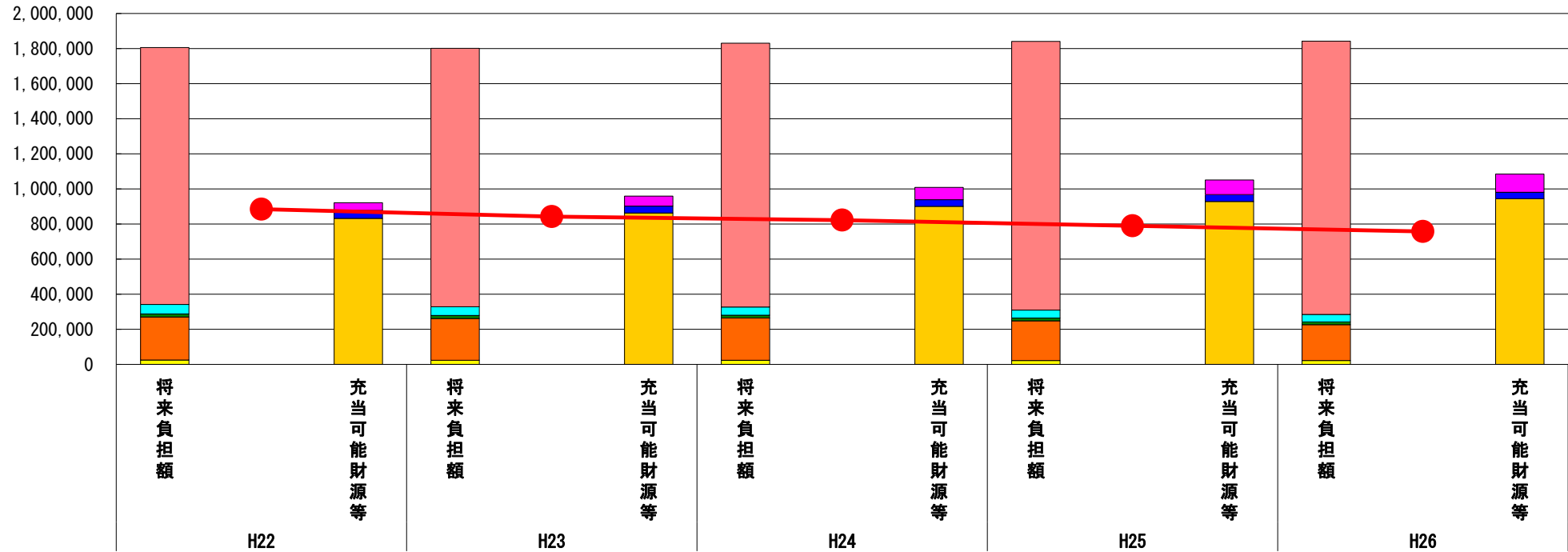
前年度より69億円減少している。これは平成21年度が公債費のピークであることによる元利償還金の減等によるものである。元利償還金については緩やかに減少しているものの、社会保障関係経費の増加等が予想されることから、引き続き歳入・歳出両面にわたる行財政改革に取り組み、節度とメリハリの利いた財政運営に努める。

# (8) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成26年度

岐阜県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		1,463,536	1,472,834	1,504,012	1,531,769	1,557,022
	債務負担行為に基づく支出予定額		55,043	50,202	46,643	45,482	42,611
	公営企業債等繰入見込額		16,928	16,625	16,296	15,852	15,399
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		245,666	237,633	240,082	225,754	204,108
	設立法人等の負債額等負担見込額		24,576	24,305	23,650	22,186	22,814
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		43,983	57,013	69,482	83,796	103,506
	充当可能特定歳入		44,760	39,269	38,786	38,715	36,717
	基準財政需要額算入見込額		832,411	862,933	900,487	928,541	944,595
(A) - (B)	将来負担比率の分子		884,596	842,385	821,929	789,992	757,136

## 分析欄

前年度より329億円減少している。これは地方債の償還に充当できる基金の残高や交付税措置のない県債の残高が減少したこと等によるものである。早期健全化基準を下回ってはいるものの、持続可能な財政運営を実現するため、早期の県債残高減少を目指す。